Vigor

三田西陵高等学校　26 回生 第 3 学年 発行
No. 31　令和 2 年 12 月 24 日

～ 学年団よりメッセージ ～

２学期もついに今日で終わりました。卒業までの登校日はわずか１３日。受験も勿論とても大切ですが、友達と笑い合う時間、先生と話す時間、教室で過ごす時間も大切にしてください。

３組担任　髙寺 智晴　先生からのメッセージ

『これから大切だと思うこと』

３年生のこのシーズン。卒業後の進路について、落ち着いた人もいれば、まだまだこれからの人もいます。先日バタバタと書類を整理していると、心に突き刺さる文章が出てきたので紹介したいと思います。

親に言われたからそうした。
先生に言われたからそうした。
兄弟に言われたからそうした。
友だちに言われたから。
先輩に言われたから。

だからうまくいかなかった原因は自分ではなくその人たちにある。
同時にうまくいったのも自分ではなくその人たちにある。

ずっと自分で「選択しない」という選択をしてきた。
ずっと「人のせい」にするという選択をしてきた。
だから反省もない。自信もつかない。

これからは、人に言われたことを受け入れる選択も、受け入れない選択も、自分がしたと認める。
誘いに乗る選択も、断る選択も、始める選択も、やめる選択も、変える選択も、変えない選択も、謝る選択も、逃げる選択も、逃げない選択も、人を責める選択も、非を認める選択も、全て自分が選び決めていく。

とても恐ろしく勇気はいるけれど、自分の人生を人に左右されるのは嫌なのでそうする。
良い結果をつくるために、自分で困難をのり超えたという自信を持ちたい。

これを読んでどう思いますか？

今の自分は、「過去の自分の選択」でしかないということです。つまり、世の中に「人のせい」は存在しないと考えることもできるわけです。これから生きていく上で、自分自身で「選択」し、胸を張って歩ける人生をつくっていきましょう♪

４組担任　吉田 圭介　先生からのメッセージ

『卒業するにあたって』

高校を卒業すれば、皆さんの行動範囲は自分次第で無限に広がります。そうすれば、自然とたくさんの人との交流が増え、多くの価値観(人の考え方や行動)に触れることになるでしょう。「これからは自由だ」と思っている人も多いのではないでしょうか。私もそうでした。一人暮らしを始める時期でもあったので、本当にうれしかったのを覚えています。

正直言うと、今皆さんが持つ価値観など大したことはありません。理由は簡単です。高校までの経験などたかが知れているからです。それゆえに、社会に出て様々な価値観を持つ人々に出会い、その中で自分の考えにこだわっていると、たくさん痛い目にも合うことでしょう。

それでいいと思います。人は痛い目を見て初めて自分を変える努力をします。今の考え方がすべてではありません。世の中には色々な価値観があります。私も 40 歳になりますが、いまだに痛い目に合うことがあります。

痛い目に合って自分の考え方を広げるために、様々なことに挑戦してください。そうすれば 10 年 20 年後に「あの時の自分は浅かったな～」と思いいたるでしょう。

今後の予定

１月８日（金）	始業式
１月１２日（火）～１８日（月）	通常授業 （15 日と 18 日は午前中授業。 共通テスト受験者は 18 日自己採点）
１月１９日（火）～２２日（金）	学年末考査 （これ以降は自由登校）
１月２８日（木）	登校日（考査返却など）
３月１日（月）	卒業式予行および各種贈呈式
３月２日（火）	卒業式